



NEWS

2015 No.286

1

月号

全国整備工場の皆様へNGP 組合員 200 拠点がお届けするお役立ち情報

平成 27 年 理事長年頭のご挨拶 新施策展開による自動車整備事業者様との 真のパートナーシップ構築で カーユーザー様へのリサイクル関連 総合サービスご提供を目指します！



NGP 日本自動車リサイクル
事業協同組合
理事長 長谷川利彦

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、弊組合に対し多大なるご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、我が国の経済は、各種政策の効果もあって雇用面等に緩やかな回復基調が見られました。しかしながら、昨年末の国政選挙にて、与党の圧勝となり消費税増税が先送りとなりましたが、消費者マインドの低下、円安、原油安や諸海外での景気動向が不安定状態となるなど景気が下押しする懸念もあります。

日本自動車整備振興会連合会（日整連）の昨年度調査における整備売上高は、前年度比2.3%増加の5兆4,217億円と2年振りの増加に転じたものの、消費税増税後の国内新車販売が低迷し、エアバッグのリコール問題等も取り上げられ新車販売の好転材料も薄く、これらの影響を受けるアフターマーケット市場も厳しい年となることが予測されます。

また、損害保険会社の自動車保険等級制度改定による影響は、車両保険請求放棄事案の増加により、軽損害事故車両が自費修理市場へ流出し、損害保険会社様及び自動車整備修理工場様においても、新しい顧客囲い込みサービスの展開を検討していると伺っています。

弊組合も今年テーマを、**Let's challenge new story with pride of NGP**の精神をもって次の課題を中心に取組むこととしています。

具体的には、①リサイクル部品総合サービスの展開です。従来より取組んでおりますNGPエコひろばサイトへのお客様問合せも、経済的な修理を希望するカーユーザー様から「リサイクル部品を使用した場合に修理見積はどの位になるのか」との問い合わせ内

容が増加しています。お客様の知りたい情報をキャッチアップし、的確な情報としてフィードバックするために、昨年新設したNGPサポートデスクの強化拡大を図ってまいります。

このサービス提供をNGPエコひろば登録工場様への入庫誘導に結び付けるオペレートをおこない、1件でも多くの修理入庫斡旋をしてまいります。

②かんたん钣金見積システム「ぱっと！くん」の提案活動をNGPエコひろば登録工場様を中心に展開いたします。軽钣金市場におけるお客様コミュニケーションツールと位置付け、迅速な見積作成によるお客様提案を行うことで軽微損害車両の入庫促進に繋がることを期待しています。「ぱっと！くん」は、NGPダイレクトシステム検索機能が連動しており、通常見積とリサイクル部品使用見積の作成が同時に可能であり、お客様へ比較見積を提案することでお客様ニーズへお応えする仕様としています。

③物流対策としては、リターナブル梱包（バンパー、ドア、エンジン）の利用拡大を、梱包コスト削減、安全輸送の維持向上及び環境貢献の一貫として位置づけ、強化いたします。さらに、NGP独自の運送事故補償サービス制度を立ち上げ、運送事故発生の場合にも迅速な対応にて解決します。この制度は、大手損害保険会社の協力を得て、運送貨物賠償責任保険をプラットフォームとして実現しています。

④供給率対策としては、昨年「500億プロジェクト」を立ち上げました。部品生産点数の上昇に力点を置き、市場ニーズとマッチするよう低年式車両にも幅を広げ、部品生産力に創意工夫をもって取り組み、自動車整備

修理事業様への供給率向上に努めます。

⑤部品取り車両の仕入れ状況が厳しくなっていますが、自動車整備修理事業様からの問い合わせに目を向け、部品生産力強化の為に一般ユーザー様からの買取サイト「廃車王」の訴求を広げ、仕入れ強化による部品生産力向上を通じて、自動車整備修理事業様へ貢献してまいります。

以上、我々の事業活動が、自動車整備修理事業様に支えられているとの認識をしっかりと持ち、自動車整備修理事業様向けの本来支援施策を推進し、皆様との真のパートナーシップを構築するよう努力してまいります。

次世代自動車の技術革新が進むなか、既に多くの自動車メーカーがIT技術・情報技術を搭載する新型車を次々と発表し、自動車運転、安全運転支援なども日進月歩で進化しています。さらには、究極エコカーの燃料電池車のメーカー開発も話題となっています。

自動車整備修理事業様も修理技術の高度化が不可欠となっていますが、我々リユース部品事業者も次世代自動車のリユース部品生産ノウハウをしっかりと研究し高品質部品提供に努めなければなりません。さらには、リチウムイオン電池、レアメタル、レアアースなどの精緻解体技術の習得及び回収スキームの研究も不可欠であると考えております。

NGP組合員各社は、各地域において信頼され、選ばれるNGPブランドのリユース部品供給を通じて、お客様利益と共存する満足度が高いサービス提供に努めてまいります。

引き続き、関係各位の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

「エコプロダクツ2014」に9年連続で単独出展

「廃車王」と「エコひろば」をキャラクター共々大々的にアピール



NGP 協同組合・環境委員会の藤原庸正委員長



壁一面に描かれた「廃車王」と「エコひろば」のキャラクター、元気が出る鮮やかなオレンジ色のエコバッグを持ったスタッフが来場者をお出迎え

NGP協同組合は2014年12月11～13日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催された、“環境”をテーマにした日本最大級の展示会「エコプロダクツ2014」に出展しました。同展示会への単独出展は、初出展の第8回より数えて9年連続になります。今回のNGPブースは東5ホールの入口近くという好位置に恵まれ、人の流れも途切れることなく、例年より多くの方がブースを訪れて下さいました。

受付の両サイドには、部品取り車両仕入

れ強化のため2013年末に一新された、廃車買い取りサイト「廃車王」(<http://www.haishaou.com/>)の、エジプトのファラオをモチーフにしたキャラクターと、NGPのリサイクル部品を積極的に取り扱う整備・修理工場をカーオーナーに紹介する「NGPエコひろば」(<http://www.eco-hiroba.net/>)のキャラクター・Dr.エコを壁一面に描き、大きく注目を集めました。そして「廃車王」ロゴ入りジャンパーを着たスタッフが、チラシを入れたオレンジ色のエコバッグを配りながら多くの来場者を出迎えました。

メインステージでは今回も、環境にやさしい自動車リサイクル部品に関する紙芝居を実施しました。プロのナレーターによる専門的ながらも理解しやすい説明に、壁面全体を使って描写された廃車買い取りからリユース・リサイクル部品生産、リユース部品での修理完了までの流れと合わせ、小中学生から大人まで多くの人が見入っていました。



募金頂いた方にエンブレムをプレゼントする被災地支援コーナーは今回も大好評



メインステージではリサイクル部品の生産工程を詳しく紹介する紙芝居をプロのナレーターがわかりやすく解説

またこれらの説明に加え、自動車のリユース部品展示コーナー、被災地支援コーナーも設置しました。リユース部品展示コーナーでは、ドアパネルやフェンダー、リアコンプレックス類など外装部品のほか、ラジエーターやステアリングギアボックスなど機能部品も実物を数多く用意しました。さらに新品部品とリユース部品の価格、CO₂削減量も明記して、環境にもお財布にもやさしいことが具体的に一目でわかるよう工夫したため、NGPリサイクル部品に高い関心をお持ちいただけました。

東日本大震災被災地を支援するコーナーでは、募金にご協力頂いた方にエンブレムをプレゼントしましたが、大量かつラインアップ豊富にエンブレムを取り揃えたこともあり、今回も年齢層を問わず大好評を博しました。

NGP協同組合の藤原庸正・環境委員長は、「出展回数を重ねるごとに、他のブースを参考にしながらレイアウトや展示方法を改良し続けてきましたが、今回は特に廃車王のキャラクターが目に残るよう工夫したことで、多くの来場客から廃車や修理に関するご相談をいただくことができました。今後もより多くの一般カーオーナーに廃車王の存在を認知していただくことで、部品取り車両の仕入れを強化し、NGP組合員をバックアップしていきます。そして、エコひろば登録整備・修理工場の皆様とあわせて、リサイクル部品を活用するメリットをアピールしていきます」と、同展示会へ継続的に出展する意義を話しています。



外板から機能部品まで、環境にもお財布にも優しいリサイクル部品を数多く展示した

「人とくるまのテクノロジー展2014名古屋」開催 最先端の自動車とその技術が “自動車のメッカ” 名古屋に初めて集結



オープニングセレモニーでテープカットを行う大村知事（中央）、河村市長（右から2人目）



エコカー試乗コーナーは、一般カーオーナーが初めてトヨタ・ミライを公道試乗できる機会となったため大盛況に



屋内の特設コースで軽快にシケインをクリアする日産ニューモビリティコンセプト

自動車に関連する最先端のテクノロジーを一望できる「人とくるまのテクノロジー展2014名古屋」（主催＝自動車技術会）が12月11・12日の2日間、ポートメッセなごや（愛知県名古屋市）で開催されました。

「人とくるまのテクノロジー展」は1992年の初回以来、過去23回はパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）で開催されましたが、24回目となる今回が初の中部地区開催となり、オープニングセレモニーには愛知県の大村秀章知事、名古屋市の河村たかし市長も出席しました。

両名は「愛知県の自動車保有台数は約510万台、日本一の県ですので、人とクルマのライフスタイルを提案するミッションが我々にはあります。同展示会がこれからも産業界の皆様と連携しながら、愛知から人類のモーターライフを発信していくための一助となることを期待しています」（大村知事）、「名古屋港の貿易黒字は毎年6兆円あり、その約半分が自動車関連と言われています。そうした自動車のメッカである名古屋で今後も開催されるよう、雰囲気を作っていかなければな

らないと思います」（河村市長）と、同展示会の開催を歓迎しています。

会場には国産カーメーカー、部品・素材メーカー、開発用ソフト・テスト機器メーカーなど自動車関連企業から197社・416小間が出展し、2日間総計で29,256名が来場しました。その中で国産カーメーカーは、FCV（燃料電池車）、PHV、EVのほか、最新の予防安全技術、軽量化技術などを披露し、部品・素材メーカーは、それら技術を支える部品や生産工程などを提案しました。

主催者特別企画としては、「モノづくりニッポン～自動車技術を支えるオンリーワン技術～」をテーマにした展示コーナーが設けられ、39社が独自の生産技術などを披露しました。また屋外ではトヨタ・ミライやBMW i3、ホンダ・アコード・プラグインハイブリッドといった最先端のエコカー、屋内の特設コースではトヨタi-Road、日産ニューモビリティコンセプトなどの超小型モビリティが試乗でき、その静かでスムーズながらもスポーティな走りが多くの来場者の注目を集めていました。



トヨタ自動車はFCV「ミライ」の実車および、間もなく市場投入予定の予防安全技術「トヨタセーフティセンス」などを披露した



本田技研工業は新型「レジェンド」と共に、同車が初採用のスポーツハイブリッドSH-AWD、予防安全技術「ホンダセンシング」を紹介



ダイハツ工業は、新型「コペン」と「ウェイク」の実車を展示。前者についてはボディ骨格のカットモデルも公開して注目を集めた

NGP 今月のCO₂削減量



リサイクル部品利用に伴う削減効果

平成26年11月： **3,919t**

※一般社団法人 日本自動車工業会が1998年に公開している自動車LCA（ライフサイクルアセスメント）データをベースに、NGPにて1500cc車両の部品重量調査結果からCO₂削減効果参考値を算出しております。



リターナブル梱包材利用に伴う削減効果

平成26年11月： **23.1t**

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NASVA、初の「予防安全性能アセスメント」を実施

レクサスLS、日産スカイライン、スバル・レヴォーグ／WRXが40点満点を獲得

自動車事故対策機構（NASVA）はこのほど、2014年度前期の予防安全性能アセスメントを実施し、10月23日に試験結果を発表するとともに、日本自動車研究所（JARI、茨城県つくば市）で公開デモ試験を開催しました。

今回が初の実施となる予防安全性能アセスメントでは、前方車両に対する被害軽減ブレーキおよび車線はみだし警報の性能をテストしました。前者では、停止および20km/hで走行する模擬車両（ターゲット）の後方に試験車を10～60km/hの5km/h刻みで接近させ、被害軽減ブレーキによる衝突時の速度低減率を計測します。衝突を回避した場合は、当該速度域に配点された満点が与えられ、割り当て点数は32点です。

後者では、試験車を60または70km/h

で走行させ、車線から逸脱しそうになった際または逸脱した後、一定の範囲内で警報が作動するかをテストします。より低い速度から警報した車両に高い得点が与えられ、割り当て点数は8点です。

以上、総計40点満点で評価され、合計点が2点以上の車両はJNCAP「先進安全車（ASV）」、12点以上の車両には「先進安全車プラス（ASV+）」として認定されます。

2014年度前期の同アセスメントでは8メーカー27車種が評価され、レクサスLS、日産スカイライン、スバル・レヴォーグ／WRXが40点満点を獲得しました。

同アセスメントには今後、2015年度にはアラウンドビューモニター、2016年度には歩行者に対する被害軽減ブレーキのテストが追加される予定です。



「先進安全車（ASV）」および「先進安全車プラス（ASV+）」のロゴマーク



公開デモ試験で実施された、けん引走行するターゲットへの追突回避の様子。車両は40点満点を獲得したスバル・レヴォーグ



NGP 組合員かわら版



山陰 ELV リサイクル協議会、島根県総合防災訓練に参加

NGP 組合員である（有）西川商会の西川正克社長が会長を務める、山陰 ELV リサイクル協議会は10月26日、島根県大田市で開催された「島根県総合防災訓練」に参加しました。また、同じ NGP 組合員の（有）山陰 UP 販売や（有）東和の支援のもと、島根県警など参加各団体が訓練に使用する車両を、島根オートリサイクルセンターが提供しました。

同協議会は、NGP 協同組合の呼び掛けで東日本大震災時の復興支援に参加したこと

をきっかけに、2013年3月に鳥取県と、2014年3月には島根県と「災害時における被災車両撤去などの協定」を締結しています。

参加した同協議会の福島伸光副会長（（株）山陰エコ・リサイクル取締役）は、「災害は起きてほしくないものですが、最近は様々な場所でピンポイントに発生しています。それに備え、私たちの力が少しでもお役に立てるのであればと思います協定を締結し、今日はその協定に沿って『行政との連絡体制』や『被災



被災車両の撤去を想定した防災訓練の様子

車両の撤去」訓練に参加しました。今後も引き続き、地域と密着した活動を展開していきます」と話しています。

訃報

12月9日、（株）南商会（北海道札幌市）南竜也代表取締役のご母堂、南房子（みなみふさこ）様がお逝去されました。享年79歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<http://www.ngp.gr.jp/>

株式会社 NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<http://www.ngp.co.jp/>